

”生活保護バッシング”は何をもたらしたのか

2012年春、人気タレントの母親が生活保護を利用していたことを契機に激しい“生活保護バッシング”が起きました。

そして、2013年、史上最大の生活保護基準の引き下げと生活保護法の「改正」が決められ、今、それが順次実行されつつあります。

一部の政治家に扇動されたバッシングは、バッシングに加担した人々の生活をも脅かし始めています。

あの”生活保護バッシング”は何をもたらしたのか。

最前線で活動する皆さんのリレートークで一緒に考えたいと思います。

7/20 (日)
13:00~16:40
(受付開始12:30)

日司連ホール

— 司法書士会館地下1階 —

JR・東京メトロ「四ツ谷」徒歩5分

(東京都新宿区本塩町9-3)

事前申込不要
入場無料 (カンパ歓迎)

主催 / 生活保護問題対策全国会議

<http://seikatuhogotaisaku.blog.fc2.com/>



(連絡先) 弁護士 小久保 哲郎
〒530-0047 大阪市北区西天満3-14-16
西天満パークビル3号館7階
あかり法律事務所
TEL06-6363-3310 FAX06-6363-3320

● 基調講演 ●

「生活保護バッシングは何をもたらしたのか」

安田 浩一さん (ジャーナリスト)

● 特別報告 ●

「シングルマザー調査から見えるもの」

徳丸 ゆき子さん

(大阪子どもの貧困アクショングループ代表)

● 特別報告 ●

「就学援助制度と子どもの貧困対策を考える」

青砥 恭さん

(NPO法人さいたまユースサポートネット代表)

● リレー報告 ●

基準引き下げ・法「改正」はDV被害者に何をもたらすか

▶ 吉祥眞佐緒さん (エープラス代表)

ハウジングプアと「住宅扶助基準の引き下げ」

▶ 稲葉剛さん

(NPO法人自立生活サポートセンター・もやい代表)

大阪で今、何が起きているか

▶ 普門大輔さん

(弁護士・大阪市生活保護行政問題調査団事務局長)

生活保護基準引き下げにどう対抗するか

▶ 安形義弘さん

(全国生活と健康を守る会連合会会長)

▶ 徳武聡子さん (司法書士・生活保護基準引き下げにNO! 全国争訟ネット事務局)

まとめ 尾藤 廣喜さん

(弁護士・生活保護問題対策全国会議代表)